

(様式)

東日本大震災復興支援委員会分科会の設置について

分科会等名：放射能対策分科会

1	所属委員会名	東日本大震災復興支援委員会				
2	委員の構成	会長及び会長の指名する副会長並びに幹事会が必要と認める会員又は連携会員 20 名以内				
3	設置目的	<p>日本学術会議は、東日本大震災に関して「東日本大震災対策委員会」を設置し、大災害からの復旧・復興、原発事故への対処、今後のエネルギー政策のあり方等について緊急の提言活動を行うとともに、放射線被害からの防護について広く市民への説明活動を行ってきた。特に、6月17日に会長談話「放射線防護の対策を正しく理解するために」を発出し、7月1日には公開シンポジウム「放射線を正しく恐れる」を開催したところである。</p> <p>しかし、被災地域の住民を始めとした国民は、依然として放射線の環境・生物・食品並びに健康への影響等について不安を持っており、国民が安心した生活を送れるようにするためにも、放射線の影響について分析し、正しい情報を幅広く提供することが求められている。</p> <p>このため、放射能汚染の現状と今後の推移を把握・分析し、健康被害を防止するためになすべきことを効果的に伝えるために「放射能汚染対策分科会」を設置する。</p>				
4	審議事項	○放射能汚染の評価（現状と今後の推移） ○健康被害を防止するためになすべきこと				
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>平成 23 年 11 月 16 日～平成 24 年 4 月 15 日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成 23 年 11 月 16 日～平成 24 年 4 月 15 日	常設	
時限設置	平成 23 年 11 月 16 日～平成 24 年 4 月 15 日					
常設						
6	備考	2012 年 3 月 11 日を目途に、審議、取りまとめを行う。				